

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

1 集約型都市構造の推進の背景

高度成長期に都市部への人口集中が進み、市街地が
 拡散し、長期的な人口減少に加え、市街地の低密度化
 (都市のスポンジ化)が進行し、一定の人口密度に支
 えられた各種の都市機能の維持が困難となっている①。
 そのため、市街地と②中心とした居住の集積や商業
 業務、医療、福祉の都市機能の集約立地を進め、一定
 の人口密度に支えられた集約型都市構造を推進する必
 要がある③。

① 文が長すぎます。「〇〇し、・・・〇〇し、」と連続しています。さらに、過去と現在がごちゃ混ぜになっています。過去の経緯と、現状は分けて書きましょう。→「高度成長期に・・・拡散した。近年では、長期的な・・・進行している。このことから、一定の・・・なっている」

② →「市街地を」

③ 推進の背景なので、文末は「・・・都市構造が求められている」としてはいかがでしょうか。

2 立地適正化計画の目的

立地適正化計画は、都市全域を見渡したマスタープ
 ランとして機能する市町村マスタープランの高度化版
 であり、居住や都市を支える都市機能の誘導によるコ
 ンパクトなまちづくりと地域公共交通の連携によりコ
 ンパクトプラスネットワークのまちづくりを進める④。

④ これも一文が長く読みづらいです。「立地適正化計画は、・・・まちづくりを進める」となっており、主語述語がおかしいです。文を一回切りましょう。また、「都市全域を見渡したマスタープランとして機能する市町村のマスタープラン」との表現も違和感があります。

○解答欄の記入は、1マスにつき1文字とすること。なお、英字・数字は1マスに2文字を目安とする。

さらに、見出しは計画の目的としているので、目的を書きましょう。

→「立地適正化計画は、市町村マスタープランの高度化版である。居住や都市を支える都市機能の誘導によるコンパクトなまちづくりを進める。また、地域公共交通の連携により、拠点を結ぶネットワークを構築する。この2つに取組みにより、コンパクトプラスネットワークのまちづくりを進めることが目的である。」

3 立地適正化計画の手法 ⑤

市街化区域内または用途地域内⑥に、一定の人口密度を再生維持する居住誘導区域と、医療福祉等生活に必要な都市機能を誘導する都市機能誘導区域を設定する。

この2つの区域における緩和策⑦により人や施設の集約化を図る。

また同時に公共交通ネットワークの最適化（道路、鉄道の組み合わせの見直し等）によって都市のコンパクト化を図り⑧、人口減少下における都市の再生と維持を目指すものである。以上

- ⑤ 立地適正化計画自体が、集約型都市構造を構築するための手法です。計画の手法とは何を問われているのか良く分かりません。策定手法ならば、記述内容は適切ではありません。
- ⑥ 用途地域は、市街化区域に設定される地域地区です。
- ⑦ 緩和策とは何ですか。何を緩和するのをもっと具体的に書かないと読み手は理解できません。
- ⑧ 公共交通ネットワークを最適化しても都市はコンパクトになりません。ネットワークは、拠点を結ぶ役割を担います。また公共交通のネットワーク化を図る計画は、地域公共交通計画です。